

委託業務特記仕様書（令和6年5月1日以降適用）

（共通仕様書の適用）

- 第1条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

（共通仕様書の変更・追加事項）

- 第2条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

委託業務共通仕様書について

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

（共通仕様書の読み替え）

- 第3条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

（成績評定の選択制（試行））

- 第4条** 当初業務委託料（税込み）が100万円を超え500万円未満及び、変更契約で業務委託料が100万円を超えた土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、除草、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領」を適用する。
- 2 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務（土木）成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。
- 3 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が100万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215929/>

（情報共有システム活用業務【受注者希望型】）

- 第5条** 受注者は、情報共有システム（以下「システム」という。）の活用を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、システム活用の試行対象業務（以下、「対象業務」という）とすることができる。
- 2 対象業務は、次のURLにある「情報共有システム活用試行要領について」を適用することとする。

情報共有システム活用試行要領

徳島県CALS/EC <https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/jyouhoukyouyuu/>

（トンネル非常用設備点検）

- 第6条** 点検実施において疑義が生じた場合には、監督員と協議し、点検方法・内容等について確認すること。

防災設備（猪ノ鼻トンネル）

点検内訳数量表

設備名	機器名称	数量	単位	備考
防 災 設 備	主制御装置	2	台	徳島県側、香川県側
	警報表示板	2	面	徳島県側、香川県側
	押ボタン式通報装置	18	台	
	消火器	36	本	
	非常電話	7	台	
	非常電話案内板	58	枚	
	通報装置説明板	18	枚	
	非常電話説明板	7	枚	
	出口誘導表示板	6	枚	
遠 方 監 視 設 備	受信制御機	1	台	西部総合県民局県土整備部<三好>
	モニタ一盤	1	面	三好警察署

修繕内訳数量表

設備名	機器名称	数量	単位	備考

点検実施要領

1. 制御装置（2台）

No.	確認事項の概要	作業の実施範囲・具体的方法	使用測定器等	点検目的の概要等	備考
1	表示部の確認	表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧±10%以内	テスタ		原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。
3	送受信信号出力の確認	送受信信号の送信レベル、受信レベル、最低受信感度及び送信周波数を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 送信レベル -15dBm～0dBm 受信レベル -35dBm～0dBm	レベル計、 周波数カウンタ、 発信器		
4	蓄電池の点検	蓄電池電圧を各セル毎に点検し、標準値以内であることを確認する。	テスタ		マンガンフリーの蓄電池（MSE等）は均等充電不要。標準値は試験成績書を確認する。
		蓄電池の液面をセル毎に点検し、適性値にあることを確認する。なお、不足の場合は補水する。			マンガンフリーの蓄電池（MSE等）は除く。
		蓄電池の比重及び液温をパイロットセル毎に測定し、標準値以内であることを確認する。なお、充電が必要な場合は均等充電を行う。	比重計、 温度計		マンガンフリーの蓄電池（MSE等）は除く。 アルカリ用、鉛用の保守用器具は混用しないこと。
		蓄電池の比重及び液温をパイロットセル毎に測定し、標準値以内であることを確認する。なお、充電が必要な場合は均等充電を行う。	インピーダンス計		マンガンフリーの蓄電池（MSE等）のみ確認する。
5	動作の確認	機側操作	制御操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
	遠方制御(1)	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
	遠方制御(2)	受信制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
	調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。			
	解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。			
	故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。			
	雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。			
	インバータ電圧	インバータの出力電圧が規定値であることを確認する。 ±10%以内	テスタ		
通話試験	制御装置と受信制御機間及び制御装置と副制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障ない程度であることを確認する。			原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。	
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	絶縁抵抗の確認	絶縁抵抗を測定し基準値以内であることを確認する。 絶縁抵抗：10MΩ以上	絶縁抵抗計 (500Vメガー)		
8	接地抵抗の確認	接地抵抗を測定し基準値以内であることを確認する。 接地抵抗：100Ω以下	接地抵抗計		
9	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
10	機器の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		周囲環境を考慮した機能維持	

2. 警報表示板（2面）

No.	確認事項の概要	作業の実施範囲・具体的方法	使用測定器等	点検目的の概要等	備考	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。	
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧±10%以内	テスタ			
3	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく表示情報が判読できることを確認する。				
4	動作の確認	機側操作	制御装置または副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。			
5	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
6	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。				
7	表示部の汚損状態確認	表示部を清掃し、明瞭に判読できることを確認する。				周囲環境を考慮した機能維持
8	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。				

3. 押ボタン式通報装置（18台）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であることを確認する。測定結果の変化傾向の把握を確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧±10%以内	テスタ		
3	絶縁抵抗の確認	回路ごとに絶縁抵抗を測定し、基準値以内であることを確認する。 絶縁抵抗：1.5MΩ以上	絶縁抵抗計 (250Vメガー)		
4	フレキシガラスの破損等の確認	フレキシガラスの破損、変改、脱落等の有無を確認する。			
5	消火器の確認	消火器本体、安全栓、ホース等の外観を確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
8	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

4. 非常電話機（7台）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
3	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		周囲環境を考慮した機能維持 装置の正常動作の確認	
4	通話試験	全ての電話機において、全指定連絡先（警察、消防、道路管理者等）との通話試験を実施する。			

5. 非常電話案内板（58枚）、通報装置説明板（18枚）、非常電話説明板（7枚）、出口誘導表示板（6枚）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。		標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握 機器の汚れ等を清掃し、埃等の付着及び錆などないこと。	
2	板の清掃等	板の外表面を清掃する。			

6. 受信制御機（1台）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考	
1	表示部の確認	表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握		
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧 $\pm 10\%$ 以内	テスタ		原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。	
3	送受信信号出力の確認	送受信信号の送信レベル、受信レベル、最低受信感度及び送信周波数を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 送信レベル $-15\text{dBm} \sim 0\text{dBm}$ 受信レベル $-35\text{dBm} \sim 0\text{dBm}$	レベル計、 周波数カウンタ、 発信器			
4	対モニタ盤送信電流の確認	送信電流を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば基準値に調整する。 電流 20mA以下 線間電圧 100V以下 対地電圧 50V以下	テスタ			
5	蓄電池の確認	蓄電池電圧をセル毎に点検し、標準値以内であることを確認する。なお、充電が必要な場合は均等充電を行う。	テスタ		メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）は均等充電不要。標準値は試験成績書を確認する。	
		蓄電池の液面をセル毎に点検し、適性値であることを確認する。なお、不足の場合は補水する。			メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）は除く。	
		蓄電池の比重及び液温をパイロットセル毎に測定し、標準値以内であることを確認する。なお、充電が必要な場合は均等充電を行う。	比重計、温度計		メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）は除く。	
		蓄電池の内部インピーダンスをセル毎に測定し確認する。	インピーダンス計		メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）のみ確認する。	
6	動作の確認	表示制御	受信制御機から制御して、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
	故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常に監視できることを確認する。				
	通話試験	受信制御装置と制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障ないことを確認する。				
	転送機能	モニタ盤への転送機能が正常であることを確認する。				
7	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
8	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		周囲環境を考慮した機能維持		
9	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。				
10	図書類・予備品等の確認	図書類が整理・保管されていることを確認する。		障害時の備え	受信制御機に接続されている各トンネル関係も含む。	
		予備品類の保管状態・数量等を確認する。				

7. モニター盤（1面）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	表示部の確認	表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であることを測定結果の変化傾向の把握を確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧±10%以内	テスタ		原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。
3	受信電流の確認	受信電流を測定し、基準値以内であることを確認する。 電流 20mA以下 線間電圧 100V以下 対地電圧 50V以下	テスタ		
4	蓄電池の確認	蓄電池電圧を点検し、基準値以内であることを確認する。	テスタ		基準値は試験成績書を確認する。
5	動作の確認	制御装置及び副制御装置から警報動作等を行い、モニター盤で監視表示が正常に行われることを確認する。			
	警報表示動作 停電動作	交流入力強制遮断して、40分間、動作が正常であることを確認する。	ストップウォッチ		
6	接続部の点検	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
8	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		周囲環境を考慮した機能維持	

点検報告書様式

トンネル非常警報装置 [主制御装置]

設置場所		猪ノ鼻トンネル 徳島県側		
機器名	点検項目	点検月日		
		天候		
主 制 御 装 置	1	表示部の確認	良 ・ 否	
	2	電源電圧等の確認	良 ・ 否	
	3	送受信信号出力の確認	良 ・ 否	
	4	蓄電池の点検	良 ・ 否	
	5	動作の確認	機側操作	良 ・ 否
			遠方制御(1)	良 ・ 否
			遠方制御(2)	良 ・ 未
			調光動作	良 ・ 未
			解除動作	良 ・ 未
			故障表示動作	良 ・ 未
			雷サージ保護機能	良 ・ 未
			インバータ電圧	良 ・ 未
			通話試験	良 ・ 未
	6	接続部の確認	良 ・ 否	
7	絶縁抵抗の確認	良 ・ 否		
8	接地抵抗の確認	良 ・ 否		
9	据付状態の確認	良 ・ 否		
10	機器の清掃等	実施 ・ 未		

トンネル非常警報装置 [主制御装置]

設置場所		猪ノ鼻トンネル 香川県側		
機器名	点検項目	点検月日		
		天候		
主 制 御 装 置	1	表示部の確認	良 ・ 否	
	2	電源電圧等の確認	良 ・ 否	
	3	送受信信号出力の確認	良 ・ 否	
	4	蓄電池の点検	良 ・ 否	
	5	動作の確認	機側操作	良 ・ 否
			遠方制御(1)	良 ・ 否
			遠方制御(2)	良 ・ 未
			調光動作	良 ・ 未
			解除動作	良 ・ 未
			故障表示動作	良 ・ 未
			雷サージ保護機能	良 ・ 未
			インバータ電圧	良 ・ 未
			通話試験	良 ・ 未
	6	接続部の確認	良 ・ 否	
	7	絶縁抵抗の確認	良 ・ 否	
8	接地抵抗の確認	良 ・ 否		
9	据付状態の確認	良 ・ 否		
10	機器の清掃等	実施 ・ 未		

トンネル非常警報装置点検記録簿 [主制御装置]

点 検 項 目		点検月日				
制御装置		点検基準		測定値		
主制御装置 徳島県側	電源電圧装置	交流入力	TB1	AC 200V ±10%	V	
		交流出力	コンセント	AC 100V ±10%	V	
		交流出力	手元操作盤	AC 200V ±10%	V	
		制御電圧	PS1	DC 5V ±5%	V	
			PS1	DC 12V ±5%	V	
			PS1	DC -12V ±5%	V	
			PS1	DC 24V ±5%	V	
		位置表示灯出力	TB5	DC 24V ±15%	V	
		インバーター出力	TB18	AC 100V ±10%	V	
		表示電源	TB7	DC 5V ±5%	V	
			TB9	DC 11V ±5%	V	
	TB10		DC 16V ±5%	V		
	インターフェイス電源	TB6	DC 24V ±10%	V		
	蓄電池	蓄電池電圧(充電)	TB17	DC 26.5V ±15%	V	
		内部抵抗測定/セル電圧	①	mΩ	V	
		内部抵抗測定/セル電圧	②	mΩ	V	
	送受信信号測定	送信レベル		0 ~ -15 dBm	dBm	
		受信レベル		0 ~ -35 dBm	dBm	
	主制御装置 香川県側	電源電圧装置	交流入力	TB1	AC 200V ±10%	V
			交流出力	コンセント	AC 100V ±10%	V
交流出力			手元操作盤	AC 200V ±10%	V	
制御電圧			PS1	DC 5V ±5%	V	
			PS1	DC 12V ±5%	V	
			PS1	DC -12V ±5%	V	
			PS1	DC 24V ±5%	V	
位置表示灯出力			TB5	DC 24V ±15%	V	
インバーター出力			TB18	AC 100V ±10%	V	
表示電源			TB7	DC 5V ±5%	V	
			TB9	DC 11V ±5%	V	
		TB10	DC 16V ±5%	V		
インターフェイス電源		TB6	DC 24V ±10%	V		
蓄電池		蓄電池電圧(充電)	TB17	DC 26.5V ±15%	V	
		内部抵抗測定/セル電圧	①	mΩ	V	
		内部抵抗測定/セル電圧	②	mΩ	V	
送受信信号測定		送信レベル		0 ~ -15 dBm	dBm	
		受信レベル		0 ~ -35 dBm	dBm	
備考						

トンネル非常警報装置 [警報表示板]

設置場所		猪ノ鼻トンネル	
機器名	点 検 項 目	点検月日	
		天 候	
警報表示板	1	表示部の確認	良 ・ 否
	2	電源電圧等の確認	良 ・ 否
	3	見え方の確認	良 ・ 否
	4	動作の確認	良 ・ 否
	5	接続部の確認	良 ・ 否
	6	据付状態の確認	良 ・ 否
	7	表示部の汚損状態確認	良 ・ 否
	8	機器の清掃	良 ・ 否
	備考		

トンネル非常警報装置 [押ボタン式通報装置]

設置場所		猪ノ鼻トンネル	
No.	点検項目	点検月日	
		天	候
1	表示灯の確認	良	否
2	動作試験	良	否
3	フレキシガラスの破損等の確認	良	否
4	消火器の確認	良	否
5	接続部の確認	良	否
6	据付状態の確認	良	否
7	機器本体の清掃等	実施	未
備考			

電源電圧測定	端末押ボタンNo.	点検基準	測定電圧
主制御装置回路 徳島県側		DC 24V ± 10%	V
主制御装置回路 香川県側		DC 24V ± 10%	V

絶縁抵抗測定 測定回路名	点検基準	測定値
押ボタン回路	DC 250Vメガ 1.5MΩ以上	MΩ
備考		

トンネル非常警報装置 [非常電話機]

設置場所 猪ノ鼻トンネル

No.	点検項目	点検内容及び判定基準等	判別
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。	
2	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。	
3	機器の清掃等	機器等の内外面を清掃する。	
4	通話試験	全ての電話機において、全指定連絡先(警察、消防、道路管理者等)との通話試験を実施する。	
	備考		

トンネル非常警報装置 [非常電話案内板、通報装置説明板、非常電話説明板]

設置場所 猪ノ鼻トンネル

No.	点検項目	点検内容及び判定基準等	判別
1	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。	
2	板の清掃等	板の外面を清掃する。	
	備考		

トンネル非常警報装置 [受信制御機]

設置場所		西部総合県民局 県土整備局<三好>		
機器名	点検項目		点検月日	
			天 候	
受信制御装置	1	表示部の確認		良 ・ 否
	2	電源電圧等の確認		良 ・ 否
	3	送受信信号出力の確認		良 ・ 否
	4	対モニタ盤送信電流の確認		良 ・ 否
	5	蓄電池の点検		良 ・ 否
	6	動作試験	表示制御	良 ・ 否
			故障表示動作	良 ・ 否
			通話試験	良 ・ 未
			転送機能	良 ・ 否
	7	接続部の確認		良 ・ 否
8	据付状態の確認		良 ・ 否	
9	機器本体の清掃等		実施 ・ 未	
10	図書類・予備品等の確認		良 ・ 否	

トンネル非常警報装置点検記録簿 [受信制御機]

点 検 項 目				点検月日		
				天 候		
受信 制御機	電圧測定	交流入力	X-Y	AC 100V ±10%	V	
		制御部出力	SWR1		DC 24V ±10%	V
			SWR3		DC 12V ±10%	V
			SWR4		DC -12V ±10%	V
			SWR2		DC 5V ±10%	V
	蓄電池測定	蓄電池電圧(停電)			DC 24.0V ±10%	V
		内部抵抗測定/セル電圧	①		mΩ	V
		内部抵抗測定/セル電圧	②		mΩ	V
	送受信信号測定	送信レベル			0 ~ -15 dBm	dBm
		受信レベル	祖谷TN			dBm
			京上TN			dBm
			龍宮TN		0 ~ -35 dBm	dBm
井川TN					dBm	
猪ノ鼻TN					dBm	
最低受信感度				-40 dBm以下	dBm	
備考						

トンネル非常警報装置 [モニター盤]

設置場所		三好警察署		
No.	点 検 項 目		点検月日	
			天 候	
1	表示部の確認		良 ・ 否	
2	電源電圧等の確認		良 ・ 否	
3	蓄電池の確認		良 ・ 否	
4	動作の確認		警報表示動作	良 ・ 否
			停電動作	良 ・ 未
			ブザー動作	良 ・ 否
5	接続部の点検		良 ・ 否	
6	機器の清掃等		機器等の清掃	実施 ・ 未
			据付状態点検	良 ・ 否
7	電圧測定	交流入力	AC 100V ±10%	V
		制御部出力	DC 5V ±10%	V
	DC 12V ±10%		V	
	DC 24V ±10%		V	
	バッテリー停電電圧	DC 26.8V ±10%	V	
8	受信電流の確認	回路電流	20mA ±3mA	mA
備考				